

Vol.

81

巻頭 理事長あいさつ

ようこそ玉手山学園へ

～「夢」と「志」を育てる～

夢と志を育てる学園

玉手山学園 広報

2016.5 SPRING-SUMMER

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 入学式・入園式特集
- 卒業式特集
- 大学・短大 北欧研修旅行
- 大学 柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト
- 短大 50周年記念植樹式・記念石碑除幕式
- 大学・短大 オープンキャンパス「顔スタッフ」研修
- 短大 保育フェスタ「第14回定期演奏会」
- 高校 新校舎建築工事着手
- 高校 修学旅行報告
- 高校 クラブ活動報告
- 幼稚園 消防出初式に参加
- 幼稚園 生活発表会
- 幼稚園 園庭開放
- ニューフェイス
- 学園スタッフ紹介

建学の精神「感恩」

人は様々な恩恵を享受し 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から発する豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い行動するとき 私たちは社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～



巻頭 理事長あいさつ

ようこそ 玉手山学園へ ～「夢」と「志」を育てる～



皆さん ようこそ! 学園、この街を好きになって

学生・生徒・園児(以下、学生と称す)、教職員の皆さん。関西女子短期大学附属幼稚園、関西福祉科学大学高等学校、関西女子短期大学、関西福祉科学大学からなる玉手山学園に“ようこそ”お越しくございました。私たちは「仲間」です。学園を愛し、生涯の友を作り、柏原の街に親しみ、豊かな学園生活を送られることを願っています。

学園は「夢」と「志」を育てるところ 夢中になれること、ありますか

学園は学生・教職員が各々の「夢」に近づくために自分を磨き伸ばすところです。それには、その気・本気になること、「志」が大切です。「志」は色々な感動・感謝の体験で育っていきます。この学園に来たら元気・やる気が出てきた、夢中になれるものが見つかった。そんな学園をめざしています。感動・感謝の仕組み、プログラム、それが“学園元気メソッド”です。

建学の精神「感恩」ありがとうを大切に

学園は創設74周年、建学の精神は「感恩」です。皆さまは学園で“ありがとう”に出会い力をもらいます。何の、どうして“ありがとう”なのかに気づき、それを大切にしてください。

福科大はこの春(H28.4)、5学部6学科に

平成9年(1997年)に、社会福祉学部単独で開設した福科大も20回目の春を迎え、心理科学部・教育学部が加わり教育の幅が広がりました。心理学をポジティブに生活・仕事に活かす人材、「夢と志を育てる」教員を養成し社会に送り出してまいります。

念願の高校新校舎(堂々の8階建)建築スタート、夢と志の象徴

この春(H28.4)高校新校舎建築着工、平成29年3月竣工予定です。新校舎建築は高校教職員の「誠実に良質の教育サービス提供に徹し、評価を受ける(生徒が集まる)」という気概の象徴です。

高校の卒業式 答辞で歌を

今春の高等学校卒業式で、卒業生が「驚き」の答辞をしました。彼女は「一番自分らしい方法で感謝の気持ちを表します…」といって歌を歌い始めたのです。式場は一瞬どよめきましたが、終わりには大きな拍手に包まれました。高校3年間で彼女は色々とチャレンジし、成長したのでしょう。忘れ得ぬ感動の卒業式、彼女に感謝したいのは私だけではないでしょう。



高校卒業式 答辞

短大の卒業式 学長式辞を思い出の映像とともに

短大卒業式では、学長が思い出の映像とともに式辞を述べました。これも本学園初です。勇退の学長が、卒業生への激励、そして自身の教員完遂の感謝の表われでしょう。様々な思い出に馳せる時空間となりました。歌も映像も「もしかして…」との不安の気持ちがないはずはありません。感謝の気持ちでいっぱいです。「私も見習いたい……」



短大卒業式 学長式辞

「やってみよう！」を大切に “怖いもの知らず” が若者

「やってみよう！」という気持ちは大切に尊いもの、ぜひ実践してください。よくよく考え心に決めて、頑張ったのに…ダメだった。しかしトライしての失敗や涙は必ず成長につながります。学生の皆さんの一番の宝物は「若さ」「怖いもの知らず」です。色々チャレンジしてください。昨春、理学療法士の国家試験に福科大で、たった1人不合格の学生がいました。彼は平静を装っていましたが、胸中は「惨めで…どん底」だったでしょう。しかし彼はこの1年、自分を見失うことなく鍛錬し見事に今春、合格しました。「1人だけ落ちたのも、悪くなかったな。」そう考え、人の痛みの分かる理学療法士として働いてほしいと願います。「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分」“Where there's a will, there's a way.”「意志あるところに道は拓ける！」



H28.3.2 PT合格報告

地域との連携もチャンス

学園は柏原市の一市民です。学園(学生)が街のために、何かを行い喜んでもらえれば(ありがたいの言葉をもらったら)、学生は成長します。彼らが成長すれば教職員も成長します。

笑顔、あいさつ、優しさ

「笑顔、あいさつ、優しさ」は豊かな心、人格の出発点です。理論不要、心がけと実践です。私は皆さんに笑顔で挨拶をします。皆さんも私に笑顔と挨拶をプレゼントしてください。

恩 威

理事長・学園長 江端 源治



入学式 特

大学入学式

4月2日、満開の桜の下、入学宣誓式が挙行されました。今年度は、教育学部、心理科学部が加わり5学部6学科の新体制となり、722名の新入生を迎えました。

八田学長による式辞では、「夢に向かって努力することを持続させ、幅広い学びを心がけて欲しい」と激励の言葉が贈られました。

大学教職員一同、これから始まる大学生活において、4年間の学びと多くの人との出会いを通じて社会に貢献できる人に成長することを期待しております。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。



短大入学式

4月1日、本学園の記念講堂にて第52回入学宣誓式が挙行されました。真新しい制服に身を包んだ新入生311名が入学しました。

大嶋新学長より「将来、それぞれの職業に就くために基本を正しくマスターする事、そのために人生で一番勉強した、という時期にしていきたい」との言葉が贈られました。

新入生は、これから希望に満ちた新生活が始まります。新生活において不安や悩みを抱えることもあるかと思いますが、教職員一同、新入生の大学生活を輝かしいものになる様、全力でサポートしていきます。

・入園式 集



— 高校入学式 —

前日の雨も上がり、正門の桜も花吹雪で新入生を歓迎するかのような4月8日、記念講堂において入学式が挙行されました。新入生宣誓では特別進学Iコースの羽手原キメキさんが426名の代表として3年間の決意を力強く述べました。会場には新入生の保護者がつめかけ、新たなステージで飛躍を誓う我が子の姿に見入っていました。

今年度は募集人数を上回る入学生で、在学生徒数は1,111名となりました。多数ある高等学校の中から本校を選び、入学して頂いたことに感謝するとともに、これからの本校の学校生活の中で夢の実現に向けて勉学に励み、充実した課外活動を行い、人間力を高められるよう、教職員一同全力を挙げて取り組む責務を感じた次第です。



— 幼稚園入園式 —

「幼稚園によこそ!!」

4月7日、春の強い風と雨の中、117名の新入園児が入園式に来てくれました。降り続く雨を吹き飛ばすような元気いっぱいので「おはよう!」「ありがとう」と挨拶。そして、笑顔で先生と歌を歌ったり、ぬいぐるみ人形劇を見たりして幼稚園の楽しい雰囲気味わって来ていました。

これから一人ひとりの思いをしっかりと受け止めて、幼稚園での生活が楽しく安心して過ごせるように、教職員一同頑張ってお参ります。



卒業式特集

大学卒業式

3月23日、春の陽射しが感じられる暖かい気候の下、平成27年卒業・修了証書学位記授与式が挙行されました。

八田学長より、「自らがすすんで学び、知識や技能を向上させる志向を持ち続け、しなやかでしたたかに、幸せな人生を送りたい」とのお祝いの言葉をいただき、学部生470名、大学院生14名、専攻科8名がそれぞれ夢に向かって巣立ちました。

式典終了後は、学部に分かれて学位記の授与や卒業記念パーティが行われたほか、クラブに所属する後輩たちが卒業生と別れを惜しむ姿が各所で見られました。



短大卒業式



3月18日、第50回卒業・修了証書学位記授与式が挙行されました。3月31日を以て退職される祖父江学長より「皆さんは一生涯かけてあなた自身の物語を書上げる事はできます。それが多くの方々から好感を持って受け入れられるよう、また皆さん一人ひとりが健康に恵まれ、本当に幸福な人生をお過ごしになる事を願います。関女の皆さんに会えて本当に良かった。ありがとう。」との言葉をいただき、295名が巣立って行きました。学生生活で培った知識と友情を誇りに、皆さんが社会で活躍され充実した人生を送られる事を願っております。ご卒業、おめでとうございます。

高校卒業式

2月26日、多くの来賓や保護者を迎え、厳粛かつ感動の卒業式が行われました。今年度は、コブクロ(わだち)の1フレーズが歌として盛り込まれた答辞が印象的でした。それにより、「自分の力で未来を切り開いて進んでいこう」というメッセージが、生徒たちの胸に強く刻みこまれ、感動的なものとなりました。また、式後は学園のあちらこちらで写真を撮る光景とともに、生徒、保護者、教員の涙と笑顔があふれていました。



幼稚園卒園式



第51回卒園式を3月16日に行いました。卒園式では一人ひとりに保育証書が授与され、子どもたちは嬉しそうに自分の証書を眺めていました。小春日和に包まれる中、式終了後は保護者の方との思い出話にも花が咲き、笑いあり涙ありの卒園式になりました。卒園生のみなさん、またお会いできる日を楽しみにしていますね!

平成27年度 関西福祉科学大学・関西女子短期大学 北欧研修旅行のご報告

大学 社会福祉学科 立花 直樹

平成28年3月8日～3月14日、学生20名(関西女子短期大学生1名、関西福祉科学大学生19名)と引率教員2名(大学の健康科学科・松中久美子准教授、社会福祉学科・立花直樹准教授)が参加して「平成27年度 関西福祉科学大学・関西女子短期大学*北欧研修旅行」が実施されました。

関西国際空港での結団式で、いきなり「江端理事長も研修旅行に同行されること」がサプライズ発表され、笑顔と驚きの中での出発となりました。

早速3月9日からデンマーク第3の都市であるオーデンセでの研修が始まり、「オーデンセの新しいリハビリテーションシステムの説明」「高齢者ケアセンターでの見学・交流会」、3月10日は「スクールカウンセラー協会での学習会」「チングケアスクール(小・中学校)での見学・交流」と、盛りだくさんの見学・勉強会・交流会の中で、あっという間に時間が過ぎていきました。最後はいつも名残惜しく、いつまでも手を握り、手を振り続けて別れを惜しましました。

その後、コペンハーゲン市内の観光を終えて、3月11日に空路フィンランドへと向かいました。

フィンランドでは、サンタクロース村を観光したり、ショッピングを楽しんだり、スノーアクティビティを満喫したりしました。最も期待していたオーロラは、ほんの数秒でしたが、幸運な参加者は見ることができました。

3月14日に全員無事に関西国際空港へ帰着しましたが、「ぜひ来年も参加したい!」と口々に学生は話していました。

この後、平成28年6月頃に「研修報告会」を実施する予定です。自由参加ですので、ぜひ見に来てください。

デンマークやフィンランドの関係機関・施設の皆様のご厚意並びにJTBのサポートは勿論のこと、教育後援会、国際交流委員会、学生支援センターを始め、多くの関係者の方々のご尽力・ご助力で、今回の研修旅行を無事に終えることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



フィンランド・ロバニエ市のサンタクロース村にて

「柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト」 からのご報告

大学 社会福祉学科 立花 直樹

日本全国各地で「福祉マップ」や「防災マップ」が作成されていますが、その多くが行政主導で作成されたもので、市民が主体となって作成したものは非常に少ない状況です。さらに「福祉マップ(バリアフリーマップ)」と「防災(災害時避難)マップ」を一体的に作成したものはとても少ない状況です。また現在、柏原市内には、計10カ所の鉄道の駅が存在し、多くの公共施設や商店や医療機関・金融機関等が各駅周辺に存在しています。実際には、駅周辺で災害に遭遇することも想定されますが、駅周辺で被災した場合の「防災マップ」は存在していません。

そこで、柏原ライオンズクラブと関西福祉科学大学が連携し、柏原市並びに柏原市社会福祉協議会の後援を得て、平成25年7月に「柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクト」を立ち上げ、柏原市内の各駅版の「福祉・防災マップ」を作成することにしました。

今回は、「JR柏原駅」周辺の公共施設・金融機関・医療機関・店舗や避難所等について、高校生(本学園の高校生が1名参加)、大学生(本学園の大学生が12名参加)、一般市民等、計30名の市民に参画頂くと共に、多くの関係機関・団体のお力をお借りして、福祉・防災調査を行いました。

そして、シンボルマークを使用し、調査結果を分かりやすく一覧表にまとめました。マップ本体は大学イラスト部学生の手書きによって温もりあふれる地図となりました。さらには、「福祉と防災が整った「心やさしい街、柏原地域」」をテーマに描いた小学生のイラストの数々が「福祉・防災マップ」に夢と彩りを添えています。

第2弾となる「柏原市福祉・防災マップ(柏原駅版)」は、平成27年12月2日に完成し、柏原ライオンズクラブ(三浦正彦会長)と本学園(江端源治理事長)、プロジェクトに携わった高校生・大学生の有志より柏原市へ贈呈され、平成28年2月25日に「広報かしわら3月号」と一緒に、柏原地域の約8,500世帯へ配布されました。

なお、平成28年2月5日からは、第3弾となる「柏原市福祉・防災マップ(堅下駅・安堂駅版)づくりプロジェクト」の調査・作成がスタートしました。



完成した
「福祉・防災マップ(柏原駅版)」



福祉・防災マップづくり調査員養成研修



福祉・防災調査結果に関する報告会



「福祉・防災マップ(柏原駅版)」贈呈式

短大50周年記念植樹式・記念石碑除幕式

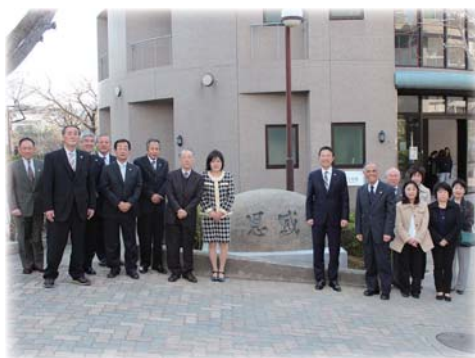
大学 総務部 山本 円香

関西女子短期大学創立50周年の記念として、短大後援会より、記念樹と記念碑の寄贈を受け、平成28年3月3日に植樹式及び除幕式を行いました。式典当日は少し肌寒さがあったものの晴天にも恵まれ、理事長を始め、学長、後援会会長、後援会役員他、本学の教職員が参列し盛大に挙行されました。

記念樹はソメイヨシノで、正門を入ってすぐの右手に植樹されました。立派に成長し、これからの短大を永きにわたり見守ってくれることでしょう。記念樹の真向いには、高等学校書道科 大田 鵬雨先生の書による本学園の建学の精神である「感恩」の文字が刻まれた記念碑が設置されました。



除幕式



除幕式 記念写真



記念植樹式

オープンキャンパスに向けた「顔スタッフ」の研修

大学 入試広報部 西岡 奈津美

入試広報部では、年間を通じてオープンキャンパスで活躍する大学・短大の「顔スタッフ」に登録されている学生のみなさんを対象にした研修を全3回実施しています。

「顔スタッフ」研修は、基本的なマナーや服装の注意点、コミュニケーションの基礎や主体性を持って行動する考え方など、社会人基礎力を身につけることを目的に実施しています。実習や就職活動において、研修やオープンキャンパスで身につけた能力を大いに発揮いただきたいと思います。

いよいよ5月から本格的にオープンキャンパスが始まります。顔スタッフの皆さんが研修で学んだことを活かし、オープンキャンパスを盛り上げてくれることを期待しています。



関西福祉科学大学 社会福祉学科
3回生 片山 友議さん
基本的マナーや第1印象の重要性など、社会で役立つ知識について実践を通して学ぶことができました!



関西女子短期大学 歯科衛生学科
2回生 矢戸 けあきさん
講義を聞くだけでなく、グループで意見交換をしたり、体を動かしたりする研修だったので、楽しく学ぶことができました!

保育フェスタ 「第14回定期演奏会」を終えて

短大 保育学科 渡邊 由美子

保育学科1年生、合唱講座受講者、附属幼稚園年長児・・・世代の異なる3組の歌声がそれぞれ晴れやかに響き、命の輝きを聴くことができました。

8組のピアノ演奏もそれぞれ素晴らしいステージでしたが、入学時にバイエルを弾いていた学生が立派に演奏する姿はきっと1年生の目標となったことでしょう。

ダンス・パフォーマンス、和太鼓アンサンブルなど、学生たちは日頃の練習成果を十分に発揮し、プログラム最後の「テンペスト」のすばらしい演奏は聴衆の感動を誘うとともに2時間の演奏会をグッと引き締めてくれました。

そして、演奏会終了後には会場に残った保育学科学生全員が「学園歌」を合唱し、3月をもって退職される仲宗根稔先生との別れを惜しみつつ、第14回保育学科定期演奏会の幕を閉じました。



ピアノ



ダンス

和太鼓



1年生
コーラス



高校新校舎の 建築工事に着手しました!

法人本部 施設部 田堀 富造

いよいよ玉手山学園の新しい顔となる高等学校の新校舎の建築工事が始まりました。3月に完了した高校2号館の解体工事中は、騒音・振動と迂回通行などご協力ありがとうございました。

工事着手前の3月24日には、学園理事者を始め関係者が集い、また生徒会の方々にもご列席いただき、建築現場にて地鎮祭を挙行、工事の無事と、予定通りの完成を祈願いたしました。4月1日から杭工事が始まりましたが、今後1年間かけて建築工事が行われますので、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

来年の4月には、学園、および高校の新たな顔にふさわしいハンサムな8階建ての新校舎がお目見えします。昨年度完成した短大7号館とあわせて、美男・美女のそろい踏みとなります。楽しみにしてください。



地鎮祭



関係者集合写真

完成イメージを
一部ですが
ご紹介します。



正面外観



グランド側から見たイメージ



7階多目的室



第2音楽教室



生物実験室



高校 修学旅行報告



高校 松下 忠明



当初10月に予定されていた修学旅行は台風の影響により、安全確保の観点から一旦中止せざるを得なくなりました。楽しみにしていた生徒たちの落胆はもちろんのこと、保護者にも大変不安な思いをさせました。その後、関係各位と折衝し、本年1月20日に無事出発することができました。が、しかし、沖縄にも約40年ぶりの大寒波が襲来。街行く人はコートを羽織っているとの情報が舞い込み、またしても天候に振り回されるのかと心配が尽きない状態で乗り込むことになりました。

あいにくの空模様ではあったものの、生徒たちは沖縄を満喫しようと積極的に、かつ、協力的に取り組み、深い感動を覚えておりました。行程通りとはいかずとも、常に前向きに取り組むその姿には、改めてひとまわり大きく成長したと安心させられました。また、学年団も一丸となり、生徒たちの一生の思い出として残るようにと取り組みました。

生徒たちにとっては普段教室では見ることのない教職員の一面を知り、より親近感と安堵感を得ることができたのではないかと思います。

修学旅行を終え、いよいよ最終学年を迎えます。進路実現のため、また、本校全体を牽引する学年として、さらなる飛躍と進化をし続けると信じております。



平成27年度 クラブ活動報告

高校 小森 泉

平成27年度 大阪高等学校総合体育大会 女子 総合成績第7位！

本校の女子体育系クラブの年間成績が、大阪府下すべての私立・公立高校の中で第7位となり、優良校として表彰を受けました。

なぎなた部

平成27年度新人大会 兼
全国選抜大会大阪府予選会なぎなた競技の部

学校対抗団体の部 準優勝

演技 2年生の部 第3位

個人の部 優勝

第11回全国高等学校なぎなた選抜大会出場(兵庫県伊丹市)



バドミントン部

第36回大阪高等学校バドミントン選手権大会
女子単の部(Ⅱ部) 第3位

美術部

大阪府高等学校芸術文化連盟美術・工芸部門展覧会
工芸分野 入選



幼稚園 消防出初式に参加 「ちびっこ消防隊、出動!!!」



幼稚園 山片 絵里佳

1月10日に柏原市、羽曳野市、藤井寺市の合同消防組合出初式に参加しました。子どもたちの表情に緊張が見え隠れするなか、消防の吹奏楽団による演奏のもと、かっこいい法被にヘルメットを着けて、周囲に大きく手を振って行進しました。その後、広い会場の中央で元気いっぱいの踊りを披露し、防火演技も堂々とやり切りました。今回残念ながら参加できなかった子どもたちも、練習の時には元気いっぱい踊っていました。みんなたくさんの拍手をもらい、すごく嬉しそうにしている姿がとても印象的でした。



幼稚園 生活発表会 「輝け! 未来のスターたち」

幼稚園 楠本 愛

3学期が始まってから、生活発表会に向けて、各クラスで合奏・劇遊びに取り組み、2月13・14日に記念講堂で発表しました。どのクラスも自信をもって発表し、友達と楽しそうに掛け合いをする姿が印象的でした。年少組は可愛らしい衣装を着て劇遊びに取り組み、入園当初とは違って頼もしく見えました。年中組は先生と一緒にみんなで力を合わせて頑張ろうという気持ちがみられました。

2日目は、満三歳児クラスのひよこ組と年長組が登場しました。ひよこ組は普段の生活そのままのかわいい姿を見せてくれ、年長組は担任の指揮と息ぴったりな合奏を披露しました。劇あそびでは、必要な小道具も子どもたちが手作りして工夫していました。また合唱では、自信に満ち溢れた表情で歌っていました。

1年間の幼稚園生活や遊びの中での経験を活かして、頑張って練習に取り組んできた集大成が舞台上で見られ、子どもたちの成長を感じることができた2日間でした。



幼稚園 園庭開放「みんな遊びに来てね!!」

幼稚園 村井 恵

平成27年度の新しい取り組みの一つとして始めた園庭開放。在園児以外にも園の恵まれた環境を思い切り楽しんでもらいたいと思い、月1~2回、土曜日の午前中に行ってきました。在園児はもちろん卒園生や地域の子もたちなど、たくさんの方に来園していただきました。最初は外遊びだけでしたが、3学期から

らは保育室に遊びのコーナーを用意したり、紙飛行機作りやコマ回しなど、遊びの内容も工夫しています。もっともっとたくさんの方に楽しんでいただけることをめざして頑張ります。



おめでとう
ございます!

幼稚園の岡本秀美教諭が、大阪府私立幼稚園連盟より、日頃の保育・教育活動に対して平成27年度優秀教員として表彰されました。



岡本教諭
「たいへん名誉なことです。これからもますます頑張ります!」

学園スタッフを紹介します

今回は、新たに就任された短期大学学長、幼稚園長、今年度より開設した心理科学部・教育学部の学部長を紹介します。



短期大学
学長
オオシマタカシ
大嶋 隆

A1 40年間大阪大学歯学部で子どもの歯科治療とむし歯予防の研究をしていました。本学にきて5年目ですが、今年度から短期大学の学長を務めています。

A2 歯学部を卒業する半年前に、祖父江前学長が教授をされていた小児歯科で、実験動物にむし歯を誘発する実験に参加する学生を探しておられ、それに手を挙げたのが始まりです。

A3 絵画収集をしたいのですが、先立つものがないため、美術館巡りを目的とする旅行を楽しんでいます。

A4 短期大学の優れた点を多くの人、特に高校生とその保護者に理解してもらい、祖父江先生が築かれた本学の隆盛を維持していきたいと思っています。

Q1 お仕事の内容をお聞かせください。

Q2 お仕事を始められたきっかけを教えてください。

Q3 趣味はなんですか？

Q4 今後の抱負をお聞かせください。



大学
心理科学部長
ヤマダ トモユキ
山田 富美雄

A1 心理科学部の創設に全力でかわり、今は1学部として独立できるよう執務と教育、研究に励んでいます。なお、私の専門は生理心理学と健康心理学です。

A2 一言でいえば、心理科学部を作るために、着任したということでしょうか。

A3 高校時代から大学まで写真部でしたので、今もPentax K3を持ち歩いています。

A4 心理科学部を、日本一の心理科学が学べる学部にし、卒業生が胸を張って心理科学が専門ですと言えるようにしたいですね。



大学
教育学部長
ハヤシリュウヘイ
林 龍平

A1 4月に発足した教育学部の一員として着任しました。専門は、教授学習心理学です。人がどう学ぶのか、だからどう指導するのが合理的なのかを心理学の観点から考えています。

A2 昭和54年に国立茨城大学に助手として勤務することから始まり、その後、平成6年からお隣の国立大学法人大阪教育大学に勤めていました。

A3 散歩することと本を読むことです。そのついでに、京都に住んでいますので、京都や大阪の古本屋などをあちこち探訪しています。

A4 教育学部の運営が無事に軌道に乗り、さらに順調に発展していけるよう、教育学部の構成員はもちろん、すべての学園スタッフの皆さんと努力していきたいと思っています。



幼稚園
園長
オカモト キョウコ
岡本 京子

A1 可愛い園児、カ・ワ・イ・イ教職員にかこまれた、幼稚園の園長です。

A2 玉手山学園とは、高等学校入学以来約半世紀近く!!の御縁になります。何か恩返しをさせて頂こうと思います。(ダイソレタ事を言っすみません。)

A3 魚釣りです。さびき釣りですが、釣りをしている時はボンヤリしたり、疲労回復をしています。でもしばらくはお休みかな～。

A4 自身の心身の管理をして、笑顔いっぱい!元気いっぱい!の幼稚園をめざします。



学園広報編集委員会

委員長 山口 美和 (大学社会福祉学部)

委員 山本 円香 (大学事務局)

西岡 奈津美 (大学事務局)

藤井 亮佑 (地域連携センター)

高橋 賢悟 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)

植田 陽 (法人本部)

早川 充昭 (法人本部)

前川 めぐみ (法人本部)



学校法人 玉手山学園
関西福祉科学大学附属

総合リハビリテーション診療所

☆お問い合わせ☆

☎ 072-931-9970

柏原市旭ヶ丘3丁目11番37号

診療科目

■内科 ■整形外科 ■リハビリテーション科

診療時間

※土・日・祝日休診

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	△	△
14:00~17:00	○	○	○	○	○	△	△

